

「令和7年度病虫害発生予報第9号」の発表について

○今後の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、関東、東海等の複数の地域の一部で多くなると予想されています。
- ・ かんきつのハダニ類の発生が、東海、近畿及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、きゅうりのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、病虫害の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、病虫害の発生調査の結果等を分析し、病虫害の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

国の病虫害発生予察情報及び都道府県病虫害防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう1か月の予報（11月6日付け）では、気温は、北日本ではほぼ平年並、東日本で平年並か高い、西日本及び沖縄・奄美で高いと予想されています。降水量は、北日本日本海側、東日本太平洋側及び西日本太平洋側で平年並か少ない、北日本太平洋側ではほぼ平年並、東日本日本海側及び西日本日本海側で少ない、沖縄・奄美で多いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: [気象庁 Japan Meteorological Agency](https://www.jma.go.jp/jma/)（外部リンク）

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アザミウマ類	東海、四国	北関東、南九州
	アブラムシ類		北関東、中国、四国
	コナジラミ類	近畿	東海、四国
	ハダニ類	東海、南九州	北関東、東海、四国、北九州
	炭疽病	北関東、四国、北九州	南九州
きゅうり	アザミウマ類	北九州	東海、南九州
	コナジラミ類	南関東、近畿、四国、九州	北関東、東海
	褐斑病	北九州	北関東、近畿
トマト	コナジラミ類	東海、四国、九州	北関東、甲信
	黄化葉巻病		甲信、東海、南九州
なす	アザミウマ類	北九州	東海、四国
ねぎ	アザミウマ類	北関東、東海、近畿	南関東、四国
	黒斑病	南関東、東海	北関東
きく	ハダニ類		近畿、中国、北九州
作物共通	オオタバコガ	関東、東海、近畿、四国	中国
	シロイチモジヨトウ	関東、東海、近畿、四国	中国、南九州
	ハスモンヨトウ	南関東、東海、中国、南九州	南東北、北関東、甲信、近畿、四国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、関東、東海等の複数の地域の一部で多くなると予想されています。また、オオタバコガでは埼玉県、愛知県、兵庫県及び愛媛県から、シロイチモジヨトウでは埼玉県及び愛媛県から、ハスモンヨトウでは埼玉県から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、適期に防除を実施してください。結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前に防除を実施してください。施設開口部への防虫ネットの設置や交信かく乱剤の利用も有効です。また、収穫後の作物残渣に卵や幼虫が付着している可能性があるため、適切に処分してください。

なお、上記種類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

微小害虫

・いちごのハダニ類の発生が東海及び南九州の一部の地域で、きゅうりのコナジラミ類の発生が南関東、近畿、四国及び九州の一部の地域で、トマトのコナジラミ類の発生が東海、四国及び九州の一部の地域で、ねぎのアザミウマ類の発生が北関東、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想

されています。トマトのコナジラミ類では、徳島県から注意報が発表されています。

これらの微小害虫は発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。なお、これらの微小害虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努めてください。

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	かいよう病	東海、南九州	
	ハダニ類	東海、近畿、南九州	四国
果樹共通	果樹カメムシ類	近畿、四国	

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

かんきつ

・**ハダニ類**の発生が、東海、近畿及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。発生密度が高くなってからは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期から防除を実施してください。防除を行う場合は、薬液が葉裏にも十分付着するよう、丁寧に散布しましょう。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

果樹共通

・**果樹カメムシ類**の発生が、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、高知県から注意報が発表されています。

本虫の飛来状況は地域や園地により異なり、果樹カメムシ類の被害を防止するためには、飛来初期の防除が重要です。昨年は、ほ場の見回り頻度が少なかったため、飛来に気付くのが遅れ、被害が生じた事例が報告されています。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。果樹カメムシ類は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。

次期作に向けた病虫害対策について

水稻

・水稻の再生株（ひこばえ）は、ヒメトビウンカの越冬源及びイネカメムシの栄養源となり得ます。このため、これらの害虫の発生地域では、密度低減のために収穫後は速やかに耕起し、すき込んでください。

・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は、田植え直後の葉や茎が柔らかい時期に水稻を加害します。来年の発生を抑えるため、収穫後の防除として、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、冬期の耕うん等による殺貝を実施してください。冬期の耕うんは、厳寒期（1～2月）に実施することで殺貝効果を高めることが可能です。農林水産省では、被害防止対策に関するマニュアルや動画などをホームページに掲載しています。また、農研機構植物防疫研究部門を代表機関とするコンソーシアムが、防除技術、リスク地図等を紹介する「スクミリンゴガイの防除支援マニュアル」を公開しています。詳しくは下記URLからご覧ください。

・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

・スクミリンゴガイの防除支援マニュアル

■ 果樹・茶共通

・果樹や茶では、翌年の病虫害防除を効率的かつ効果的に実施するため、病虫害の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業に合わせて、感染落葉やり病部を除去し、速やかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニの発生が多かった園地では、秋整枝後の休眠前（秋冬期）又は休眠明け（早春期）に薬剤散布等の防除を実施してください。

■ かんしょ

・サツマイモ基腐病については、感染したいもや苗がほ場内に持ち込まれることにより発生が広がるため、健全種いもの確保、苗床の消毒等を実施することにより、健全な種苗を育成してください。

■ 都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和7年10月8日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

■ 警報

発表はありません

注) 重要な病虫害が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

■ 注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病虫害
10月9日	埼玉県	植木類、チャ、果樹類、宿根アスター等	チュウゴクアミガサハゴロモ
10月16日	愛媛県	野菜類、花き類など	チョウ目害虫（シロイチモジヨトウ、オオタバコガ）
10月17日	高知県	カンキツ類（温州ミカン、ポンカン等）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
10月17日	兵庫県	野菜類・花き類	タバコガ類（オオタバコガ、タバコガ）
10月17日	愛知県	野菜類・花き類	オオタバコガ
10月27日	埼玉県	野菜類・花き類	チョウ目害虫（ハスモンヨトウ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ）

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
11月6日	徳島県	冬春トマト・ミニトマト及び冬春なす	コナジラミ類(主にタバココナジラミ)

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月10日	京都府	タケ類	キモンホソバノメイガ
10月10日	高知県	園芸作物	チュウゴクアミガサハゴロモ
10月10日	和歌山県	ショウガ	ショウガ褐色しみ病
10月10日	和歌山県	スイカ	スイカ退緑えそ病
10月10日	和歌山県	トマト	トマト立枯病
10月23日	広島県	果樹全般（カンキツ、ブドウ、モモ、イチジク等）	チュウゴクアミガサハゴロモ
10月30日	宮崎県	シキミ、カンキツ	チュウゴクアミガサハゴロモ
11月4日	愛知県	果樹類（カンキツ、ナシ、モモ、カキ等）、チャ	チュウゴクアミガサハゴロモ
11月6日	長野県	りんご、なし、もも、ぶどう、ブルーベリー他多数の樹木	チュウゴクアミガサハゴロモ
11月7日	大分県	カンキツ（温州ミカン、ポンカン）	チュウゴクアミガサハゴロモ

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法により、重要病害虫発生時の通報が規定されています。我が国未発生又は我が国の一部のみに発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL:<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL : <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujosho.html>

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第10号：令和8年3月11日(水曜日)

(参考) これまでの発表

第1号：令和7年4月16日(水曜日)

第2号：令和7年5月14日(水曜日)

第3号：令和7年6月11日(水曜日)

第4号：令和7年7月9日(水曜日)

第5号：令和7年7月23日(水曜日)

第6号：令和7年8月6日(水曜日)

第7号：令和7年9月10日(水曜日)

第8号：令和7年10月8日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課国内防除第2班

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382